



南園
天文政八年
初貳代
及
三
代

上之巻
初貳代
及
三
代

~13
2378
340



遠近
2378
340

成田山

御手

乃網

五郎

全七冊

鶴屋南北門葉

龜東作

一陽齋

豊國画



文政八年乙酉初春
上卷之市發
今利屋版

壹第

是亦奉ける宝剣八柄も人皇四十二代
文武天皇の御宇大和國乃任人天國を假て
禁裡へ奉る 帝敎國のゆかり宝藏へ納められた

其後六十代
朱雀天皇の御宇朝敵
將門調伏の爲不動尊の御持物み

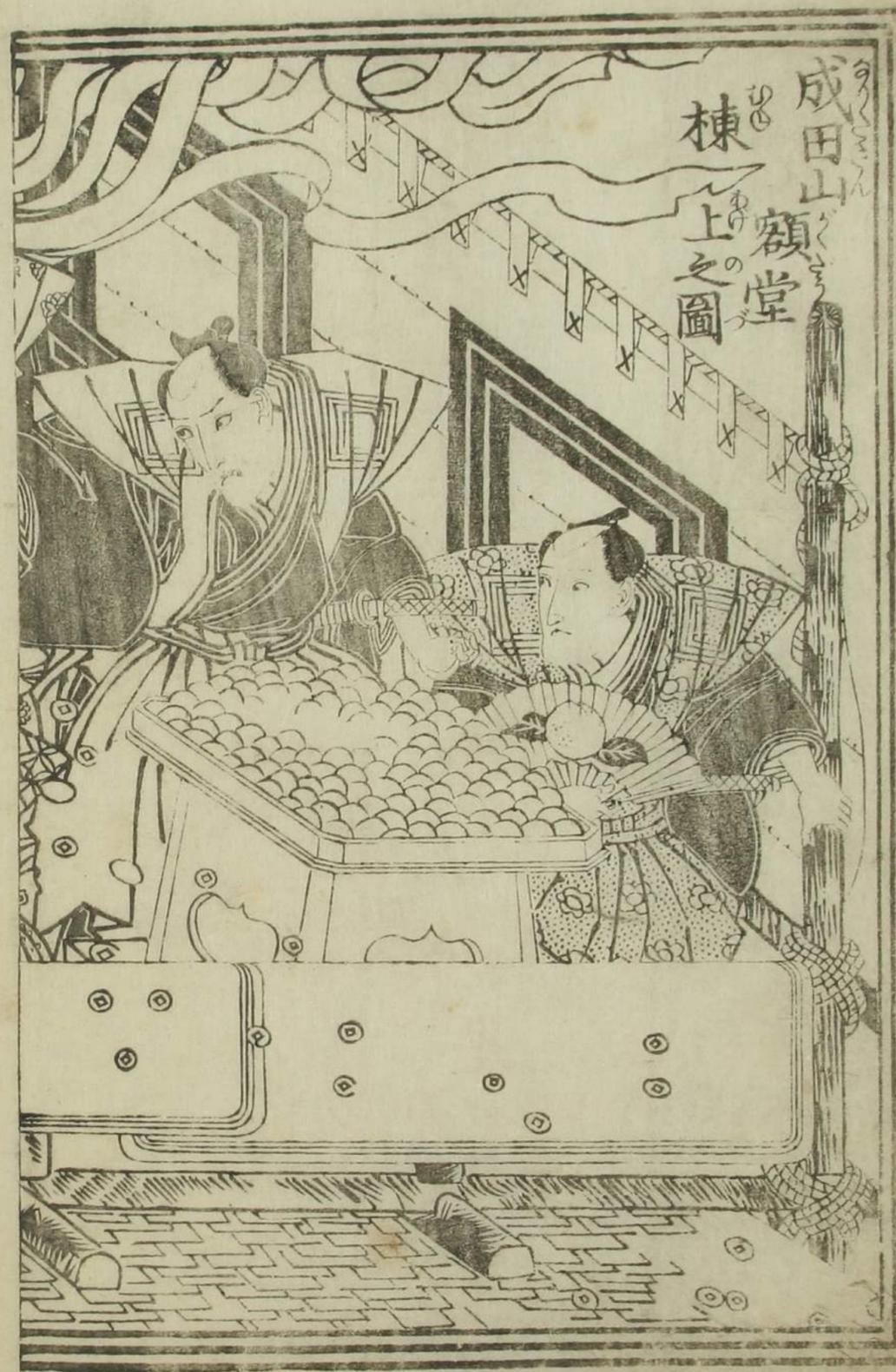
御奉納ありせられ則尊像所持しあり空飛
鳥も翅を縮め地不墜る去にあり宝藏の中あり

頼朝公深く心懸望りの鎌倉の重宝とありに推し
不思議のゆかり里見の家臣石塚弥三兵衛と以て右の
剣と本尊へ返し奉る天國の御剣とありを

龜東記



天國短刀





清浄童子乃靈

成日



里見の家臣 神原佐七郎

後本町

綱五郎

本町 糸屋娘

小糸

童子の内



細五郎女房の
控房



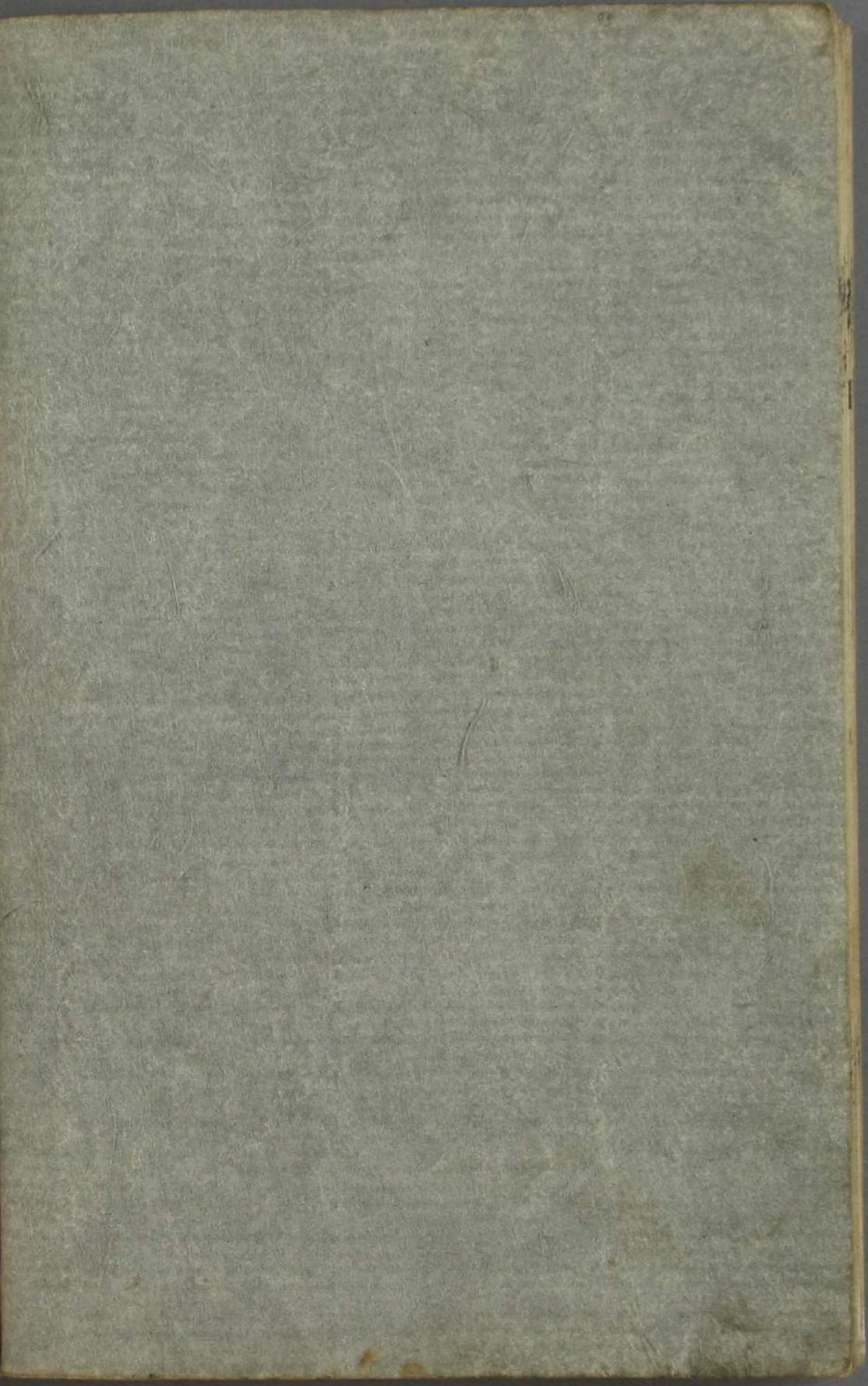
里見の
家臣半時九郎兵衛

里見の
親神原佐五郎



南九門 豊國面

西川 豊國面
東川 豊國面



三才の義は...
 一才の義は...
 二才の義は...
 三才の義は...
 四才の義は...
 五才の義は...
 六才の義は...
 七才の義は...
 八才の義は...
 九才の義は...
 十才の義は...



成田山 御手 網立郎の 南北門業 龜東作 豊國



今利屋板 中巻

Handwritten text in a cursive style, likely a preface or introductory text, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive style, likely a continuation of the text from the top of the page, located at the bottom of the right page.

Handwritten text in a cursive style, located on the left side of the left page.

Handwritten text in a cursive style, located on the right side of the left page.



海本
 下
 又
 用
 中



成田

三十三



歌川豊國画
鶴屋南北



湯島の言三
三寄の七
松竹梅の音
鶴屋南北

湯島の言三
三寄の七
松竹梅の音
鶴屋南北
湯島の言三
三寄の七
松竹梅の音
鶴屋南北

三浦屋 山東京山作

高尾 伊達 摸様雲稻妻 六冊

阿七 市川三升作
吉三 女風俗五旦妻鑑 六冊

成田山御手紙 綱五郎 六冊

熱陽老人製
天真方粒玉丹 二冊

地本錦繪問屋
文芳堂
今利屋刃藏

傾城揚羽蝶花形 六冊
市川三升作
哥川豊重画

美艶仙女香 一包四十八冊
市川三升作
哥川豊重画

百薬香 一包四十八冊
市川三升作
哥川豊重画

画篋 一包四十八冊
市川三升作
哥川豊重画

今利屋刃藏

